

科目名：歯科診療補助論 I (Assisting for Dental Practice I) 履修年次/時期：1 年次 前期 授業形態：講義・演習 主担当教員：片岡あい子（実務経験 歯科衛生士 4 年：実務経験から診療室における医療安全管理ができる能力および医療人としての基本的なマナーが身につけられるよう授業を行っていく） 担当教員：井出桃、金子和美		必	2 単位 (90 時間)	
学修目的	この科目を通して歯科診療の補助の重要性を理解し、感染予防を含めた診療室における医療安全管理ができる能力を養う。また歯科衛生士は専門的な業務のみならず、医療人としての基本的なマナーを身につけることも大切である。そのため患者さんやスタッフとの対応法も学修する。 CP1,2,3,4,5 に関連する。 科目No. S1C12H26			
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
	到達目標	① 歯科診療の流れを理解し、歯科衛生士による補助、介助の重要性を理解する。 ② 歯科診療補助の概要を理解する。 ③ 診療室における感染予防対策および消毒・滅菌法を修得する。 ④ 受付の事務的な業務を理解する。 ⑤ 診療設備、薬品などの管理法を修得する。 ⑥ 歯科用ユニットを操作し、診療を安全に行う準備ができる。 ⑦ 共同動作を安全に行うことができる。 ⑧ 受付対応の基本を理解し、患者さんに誠意ある対応法を修得する。		
授業概要	歯科衛生士の歯科診療補助は法律に規定された行為である。その補助業務の範囲を理解し、受付業務、診療室の管理法等を修得する。感染予防や廃棄物の処理などは実習を取り入れ、診療室における医療安全管理について学ぶ。また患者さんをはじめスタッフとのコミュニケーションを図る上で大切な基本的作法を学ぶと共に、受付窓口や電話での対応についてはグループワークを行い、様々なライフステージの方々に適切に対応できる能力を養う。			
評価方法	1) 筆記試験 80% 2) 実習点（レポート提出、受講・演習態度、ルーブリック、ポートフォリオなど） 20% 以上を総合評価し、単位認定を行う。 課題に対するフィードバックは授業・演習時に行う。			

	試験に対するフィードバックは掲示で行う。
予習・ 復習時間	【予習】0.8 時間 【復習】0.8 時間
教科書	A) 歯科衛生学シリーズ『歯科診療補助論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 B) 歯科衛生学シリーズ『歯科機器』全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社
参考書	随時紹介します。
オフィス- 連絡先	片岡あい子：月～金 16:00～17:00 3号館 2階研究室 kataoka@kdu.ac.jp 井出 桃 ：月～金 16:00～17:00 3号館 2階研究室 ide@kdu.ac.jp 金子 和美：月～金 16:00～17:00 3号館 2階教員室 不在の時にはメールにて連絡をください。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1・2	<p>【オリエンテーション・診療の流れ】</p> <p>① 歯科衛生士の診療への関わりを説明できる。</p>	<p>〔予習〕 A50-56</p> <p>〔復習〕 配布プリント</p> <p>〔キーワード〕 歯科衛生士の業務</p>	<p>講義・演習</p> <p>○片岡井出</p>
3・4	<p>【歯科診療補助の概要】</p> <p>① 歯科診療補助の範囲を説明できる。</p> <p>② 補助と介助の違いを説明できる。</p>	<p>〔予習〕 A2-6</p> <p>〔復習〕 歯科診療補助の範囲、配布プリント</p> <p>〔キーワード〕 保健師助産師看護師法、歯科衛生士法、歯科診療補助と介助、歯科診療補助の範囲、業務制限、絶対的歯科医行為、相対的歯科医行為</p>	<p>講義</p> <p>○片岡</p>
5・6	<p>【感染予防（1）】</p> <p>① 医療安全について説明できる。</p> <p>② インシデント・アクシデント報告の目的を説明できる。</p> <p>③ 歯科医療における感染症の概念と対策がわかる。</p> <p>④ 標準予防策について説明できる。</p> <p>⑤ 手指消毒を実践できる。</p>	<p>〔予習〕 A7-17</p> <p>〔復習〕 標準予防策、手指消毒法、配布プリント</p> <p>〔キーワード〕 標準予防策、リスクアセスメント、手指衛生</p>	<p>講義・演習</p> <p>○井出</p>
7・8	<p>【感染予防（2）】</p> <p>① 个人防护具の取扱いができる。</p> <p>② 血液媒介感染ウイルスについて理解する。</p> <p>③ 偶発事故の対応について説明できる</p>	<p>〔予習〕 A18-32</p> <p>〔復習〕 感染予防の基本、配布プリント</p> <p>〔キーワード〕 个人防护具、B 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルス、ヒト免疫不全ウイルス</p>	<p>講義・演習</p> <p>○井出</p>
9・10	<p>【消毒・滅菌】</p> <p>① 滅菌・消毒・洗浄の基本を説明できる。</p> <p>② 消毒剤の種類と特徴を説明できる。</p> <p>③ 消毒薬の希釈方法を理解し実践できる。</p> <p>④ 滅菌法の種類と特徴を説明できる。</p> <p>⑤ 高圧蒸気滅菌器の操作方法を理解できる。</p> <p>⑥ 歯科用インスツルメント別に適切な消毒・滅菌を選択できる。</p>	<p>〔予習〕 A32-43、B21-25</p> <p>〔復習〕 配布プリント</p> <p>〔キーワード〕 滅菌、消毒、洗浄、高圧蒸気滅菌、EOG滅菌、低温プラズマ滅菌、LTSF滅菌</p>	<p>講義・演習</p> <p>○片岡</p>
11・12	<p>【診療設備の管理・事務管理】</p>	<p>〔予習〕 A44-47</p>	<p>講義・演</p>

	<p>①診療設備を説明できる</p> <p>②診療設備の管理ができる。</p> <p>③感染性廃棄物を種類別に分類できる。</p> <p>④感染性廃棄物の処理法を説明できる。</p> <p>⑤医療書類の種類を説明できる。</p> <p>⑥院内の適切な事務管理を説明できる。</p>	<p>〔復習〕 配布プリント</p> <p>〔キーワード〕 診療設備、薬品、歯科材料の管理、感染性廃棄物処理法、医療書類の管理、</p>	<p>習</p> <p>○井出</p>
13・14	<p>【ユニット操作法】</p> <p>①患者さんを適切に誘導できる。</p> <p>②歯科用ユニットの構造を理解する。</p> <p>③安全に操作することができる。</p> <p>④診療室の準備、後片付けの基本作業ができる</p>	<p>〔予習〕 A54-55、B6-18</p> <p>〔復習〕 ユニットの使用方法</p> <p>〔キーワード〕 歯科用ユニット 安全操作</p>	<p>講義・演習</p> <p>○井出</p>
15・16	<p>【共同動作（1）】</p> <p>①スリーウェイシリンジの基本操作ができる。</p> <p>②バキュームチップの基本操作ができる。</p> <p>③口腔内洗浄ができる。</p>	<p>〔予習〕 A63-69, 71-77</p> <p>〔復習〕 バキューム操作の基本、プリント確認</p> <p>〔キーワード〕 バキュームテクニック</p>	<p>講義・演習</p> <p>○金子</p>
17・18	<p>【共同動作（2）】</p> <p>①適切なポジショニングができる。</p> <p>②適切なライティングができる。</p> <p>③フォーハンデッドデンティストリーによる操作ができる。</p> <p>④患者様の不快感を予測し、適切な対応ができる。</p>	<p>〔予習〕 A63-77</p> <p>〔復習〕 フォーハンデッドデンティストリー、プリント確認</p> <p>〔キーワード〕 ポジショニング フォーハンデッドデンティストリー</p>	<p>講義・演習</p> <p>○金子</p>
19・20	<p>【患者対応（1）】</p> <p>①患者への一般的な対応を説明できる。</p> <p>②受付の機能と意義を説明できる。</p> <p>③基本的な接遇を理解する。</p> <p>④挨拶の基本ができる。</p> <p>⑤適切な言葉遣いができる。</p>	<p>〔予習〕 A57-59</p> <p>〔復習〕 受付の機能・意義、配布プリント</p> <p>〔キーワード〕 受付の機能、患者への対応、敬語</p>	<p>講義</p> <p>○片岡</p>
21・22	<p>【患者対応（2）】</p> <p>①初診、急患、再来患者さんへの対応法を理解する。</p> <p>②妊産婦への対応法を理解する</p> <p>③小児への対応法を理解する。</p> <p>④高齢者への対応法を理解する。</p> <p>⑤患者さんへの電話対応を理解する。</p> <p>⑥それぞれの患者さんへの適切な対応ができる。</p>	<p>〔予習〕 A 57-62</p> <p>〔復習〕 配布プリント</p> <p>〔キーワード〕 患者への対応</p>	<p>講義・演習</p> <p>○金子</p>

23・24	<p>【患者対応（3）】</p> <p>①歯科用ユニットの安全な操作に習熟する。</p> <p>②患者さんに不安感を与えずに、口腔内洗浄ができる。</p> <p>③患者さんを安全に誘導し、適切な対応ができる。</p> <p>④スムーズに器具の受け渡しができる。</p>	<p>〔予習〕 A 59-77</p> <p>〔復習〕 今までの実習での配布プリント確認</p> <p>〔キーワード〕 患者への対応 ポジショニング フォーハンデッドデンティストリー</p>	<p>講義・演習</p> <p>○片岡</p>
25・26	<p>【感染予防の実際】</p> <p>【振り返り】</p>	<p>〔予習〕 A 316-323</p> <p>〔復習〕 プリント</p> <p>〔キーワード〕 訪問診療</p>	<p>講義</p> <p>○片岡</p> <p>招聘講師</p>